国際交流委員会　　　　　　　　　　　**報告**　　　　　　　　　　　委員長　久保義弘

委　員

岡村康司、○久保義弘、酒井秀紀、樽野陽幸、西田基宏、西谷友重、西村幸男、渡部文子

**報告書作成日**

2021年 2月 6日

**報告事項**

**[1] 合同大会における国際交流シンポジウムについて**

第98回 日本生理学会大会（第126回 日本解剖学会総会･全国学術集会との合同大会）における国際交流シンポジウムについて、生理学会・国際交流委員会と解剖学会・海外交流委員会（委員長：和栗聡教授（福島県立医大））の協力により、以下の2企画を立案し、大会事務局に提出した。「国際企画シンポジウム」として採択いただき、ライブ発表、および4月5日からのオンデマンド配信の形式で、実施することとなった。いずれも生理学会・解剖学会合同の国際交流企画である。

------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

**生理学会・解剖学会合同　日韓　シンポジウム**

タイトル：

オルガネラ品質管理とその病態生理学的意義

（Organelle quality control and its pathophysiological significance）

オーガナイザー、座長：

　　生理学会側：　　西田基宏（九州大・教授）

　　解剖学会側：　　大野伸彦（自治医大・教授）

講演者：

　　生理学会側（機能）： 西村明幸（生理研・特任准教授）

　　 　Jin Han (Inje大医学部生理学（韓国）・教授）

　　解剖学会側（形態）： 大野伸彦（自治医大組織学・教授）

　　 　Woong Sun (Korea大医学部解剖学（韓国）・教授)

-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------

**解剖学会・生理学会合同　日米韓　シンポジウム**

タイトル：

新たな大脳基底核像を求めて

(In search of new concepts of the basal ganglia by new techniques)

オーガナイザー、座長：

解剖学会側：　藤山文乃（北大院医・教授）

生理学会側：　南部篤（生理研・教授）

講演者：

　 　解剖学会側（形態）：　苅部冬紀 （北大院医・助教）

　　　　　　　　　　　　　　　 　Juan Mena-Segovia (Rutgers University（米国）・Assistant Professor)

生理学会側（機能）：　野々村聡（京大霊長類研・研究員）

　　 　Jeongjin Kim （KIST（韓国）・Senior research scientist）

**[2] IUPS2022(Beijing) におけるシンポジウムの提案について**

2022年5月7日-11日に北京（中国）で開催されるIUPS2022のシンポジウムの公募が、現在行われている。締め切りは、2021年3月31である。

（https://www.iups2022.com/pages/scientific-info/call-for-symposia）

学会としてではなく、個人として提案する形である。日本の生理学のプレゼンスを示すためにも、ぜひ、国際色等に十分配慮した優れた企画を多数提出していただきたいと考えている。生理学会会員に対し、既にメールで周知しているが、2月中に再度、お伝えする。

**2021年度事業計画**

上述の国際企画シンポジウム2件において、生理学会サイドとして招聘する韓国の講演者2名の旅費（上限15万円 x 2） を計上していた。しかし、2021年3月の第98回大会はweb開催となったため、旅費の支出は不要となった。

2022年3月の第99回大会においても、国際交流委員会企画のシンポジウム2件程度を実施できるよう、大会本部と相談の上、準備を進めて行きたい。

**理事会への提案（議事として諮りたいことをお書き下さい）**

無し